

# 明石市財政健全化推進計画の概要

計画期間 平成 26 年度～平成 35 年度

## ◆計画策定の背景（財政運営上の課題）

- ① 人口減少と少子高齢化の進展 ⇒ 歳入減少、歳出増加の傾向
- ② 収支不足（10 年間で累積 115 億円）が見込まれる財政状況
- ③ 公共施設の老朽化に伴う更新費用の増大

## ◆計画の基本方針と目標

ねらい

厳しい財政運営を強いられる中でも  
将来世代に負担を先送りせず  
元氣な明石を引き継いでいくために

バランス

- 市民福祉の向上
- 安全安心のまちづくり
- 持続可能な財政構造

基本方針

- ① 子どもの健やかな育ちで、みんなの元氣を生み出す
- ② 自主財源の確保を徹底する
- ③ 支援が必要な人に対する支援に重点を置く
- ④ 選択と集中、スクラップ・アンド・ビルドを徹底する
- ⑤ 必要性や効果を確かめる
- ⑥ みんなで話し合って進める

目標

- ① 10 年間の収支均衡（累積収支不足見込み額 115 億円の解消）
- ② 10 年後の基金残高 70 億円を確保

## ◆取り組み項目

[ ]内は個別目標

### (1) 市役所内部の取り組み

- ① 事務経費の削減 [10 年間累積で事務経費を 13 億円削減]
- ② 人件費の削減 [H35 までに 正規職員 1,800 名体制、年間人件費 20 億円削減]
- ③ 歳入の確保 [H35 までに市税等主な債権徴収率(現年度分)99%以上]  
[10 年間累積で歳入を 15 億円増加]

### (2) 事務事業の見直し [10 年間累積で事業費を 13 億円削減]

### (3) 公有財産の有効活用

- ① 未活用地の活用の強化 [10 年間累積で売却・貸付収入 11 億円]
- ② 公共施設配置の適正化 [40 年間で公共施設総量を 30%削減]  
[10 年間累積で適正化による収支改善 55 億円]

### (4) 受益者負担の適正化 [H35 までに年間受益者負担収入を 2 億円増]

### (5) 人口の維持、増加を目指す取り組み

子どもが健やかに育つ環境の整備  
支援が必要な人に必要な支援が行き届く環境の整備 等

## ◆取り組みの進め方

- ・職員の意識改革を推進し柔軟な発想で検討
- ・市民、市議会、行政の情報共有、十分な話し合い
- ・市財務部財政健全化室が主導して計画推進、必要に応じて計画見直し